



NPO 法人  
 長浜観光ボランティア  
 ガイド協会  
 〒526-0059  
 長浜市元浜町 14-12  
 湖北観光情報センター  
 電話 0749-65-0370  
 発行責任者・馬場智章

鯼の湖のおもい

1. 真心を込めたおもてなしの心で、お客さまをあたたくお迎えします。
2. 地域の歴史や文化、豊かな自然を温かい人情とともにお客さまにお伝えします。
3. 常に幅広い知識を身につけ、魅力ある文化観光都市長浜の発展につくします。

# 『ウイズコロナ』でのガイド活動

記録的大雪に見舞われた冬も過ぎ去り、桜舞う季節の到来となりました。

会員の皆さまには、日頃協会運営にご協力とご理解を頂き感謝申し上げます。

皆さまご承知のとおり今年度は協会役員の改選期に当たります。この二年間を振り返ってみますと、世界中がコロナ禍といわれる状況に突入し、いまだに抜け出せないのが現状であり、当会もコロナの波に翻弄されながら『皆さまの安全確保と、観光客の増減、地域の観光活動』のバランスを考慮して、休止と再開を繰り返し現在に至っております。

この2年間にコロナの発症件数に対する人々の恐怖感に変化しています。令和二年四月に全国に緊急事態宣言が発出され、一斉休校に加え各種施設の閉館などコロナの抑え込み対策が展開されましたが収束には至らず、現状では第六波といわれ、これも高止まり状態です。一方経済活動では観光業界をはじめ



理事長 馬場智章

いろんな分野にその影を落としており、『ウイズコロナ』といわれる言葉が示すように、コロナを防ぎながら各種活動が展開されています。

私たちのガイド活動も従来のガイド一人にお客様二十人を半分の十人とし、お客様の密を防ぐ形に改めました。加えて、大きな声を出さずに説明でき、密にならない「イヤホンガイドシステム」をいち早く導入し、使用後の消毒も完全に行い、最大七十名のお客様を、より安全な形でご案内する体制を整え「安心して楽しい観光が出来る」と好評を得ています。

コロナの当会への影響は、バスでの団体旅行客やJR利用客などが減少し、ガイド申込件数の減少に繋がっています。令和三年度から新たに契約したJTBガイドも、今四月からは休止となり残念です。

新型コロナウイルス感染症は大変な病気で

あり感染防止には十分な注意が必要です。一方、ガイド活動は不特定多数の人と会話するので感染する危険性はありますが、前述のイヤホン使用で「密」を避け、事後の「うがい・手洗い」など自分を守る行動で感染防止が出来ます。

『自分を守る』『お客様の期待に応える』『地域の繁栄に寄与する』の3つのバランスを考慮しての活動が、『ウイズ・コロナ』時代の暖簾を守る道と考えます

## 二年間を振り返って

副理事長 木村富久子



桜の便りが次々に聞かれる頃となりました。しかしコロナも全国をみるとまだまだ終息にはほど遠く、何とか早く収束して欲しいと願うばかりです。

さて、私はこの二年間いったい何をしてきたのだろうと心の中で自問自答を繰り返しているこの頃です。でも、皆様のお力で何とか乗り切ることが出来ました。

令和二年度は、思うように活動することが出来ませんでした。三年度に入り、少し落ち着き、コロナ過の合間を縫って、出来る事業にみんなで取り組んできました。

まず、六月には、当協会ホームページの活用方法について広報担当の研修会があり、現

在では閲覧人数が増加しているという嬉しい結果も出ています。また、県外研修で奈良の郡山城跡や、薬師寺にて研修をしてきました。身も心も軽く晴れやかな気持ちで家路に着いたことが昨日のようです。研修担当の皆さまお世話になりました。

JR企画部も、JR冊子の掲載基準が厳しくなり大変ご苦労されましたが、結果が報われ、4月号には三コース掲載の運びとなりました。

ガイド部の皆さまには毎月ガイド割り付け

令和三年度の活動を振り返って

公式文書は総会議案書ですが、ここでは気楽なお話風に書きます。

モットーは、「楽しくガイドをする」でした。評価するのはガイドをされた方々です。コロナ禍のもとでヒヤヒヤの連続でした。休止期間もありました。無理に出勤をお願いしたり、引き受けてもらったらすぐにキャンセルされたガイドもあって、随分迷惑を掛けました。ただ、大きなトラブルや事故がなかったことが救いでした。それですれすれ合格か

「なごみの輪」へ募る想い

お水とりが終わると春が来るから。待つ私の畑の隅に三つの露の臺を見つけた。凜と二つ、『あなたは直井部長、橋本スタッフ。裾の小さい顔が私』。萌黄色の春の使者は日向と寛容力で私を包んで下さいました。

心のこもるお客様への対応、繰り返しでの詳細な打ち合わせ、調査のもとで細やかな行程のアドバイス等々、その受け入れ方を間近で学ばせて戴き「心いっばいの玄関」が感想です。会員に向けても同様にイヤホンガイドの準備の有無、備えと、お二人の熱意は内外

JRハイキング企画部二年間の成果と課題

この二年間、他の活動同様コロナ流行の影響を受け、十分な活動ができなかった。また、JRハイキングの採用基準が厳しくなったことは、大きな問題である。

- (1) 成果
  - ① 新しく部となり、活動が明確になった。
  - ② 竹生島や国友等、人気や話題のコース設定が定着してきた。
  - ③ 研修や受付サポートへの参加等、会員のハイキングへの関心も深まりつつある。

コロナ禍のもと達成したことと私の課題

月日の経つのは早く私が理事の大役に選ばれて早くも四年が過ぎようとしています。その間皆様には大変お世話になり又ご協力頂きまして感謝しています。有難うございました。

今年は、春の訪れと桜の開花に合わせて出勤出来ると思いましたがコロナは収まらないようです。

この二年間はコロナウイルスの影響で活動らしき事は出来ませんでした。

自粛・自粛で外出もままならずブラブラ過ごしていますと、ガイド案内に自信が無くな

等大変お世話になりました。

何かと至らない私を支えて下さいました。理事長様はじめ皆さまには本当に感謝しかございません。ありがとうございます。

先輩の皆さまが築き上げてこられた私たちの協会。新年度は、心機一転新しいメンバーでの船出です。どうぞよろしくお願いいたします。

最後に近江商人の理念「三方よし」から、長浜VGは「ガイドよし、お客様よし、長浜よし」で楽しくガイドしましょう。

事業部ガイド担当 直井一博

な？これが自己採点です。

入会して一年も経たないうちにコロナが始まり、その春からガイド担当になりました。ベテランの近藤さんに教わりながら、その次の春からは橋本さんにも教わりながら務めました。ガイド係を難しい仕事にしないようにと考えてきたつもりですが、私には初体験のことがまだまだあって、どうすれば誰にでも引き受けてもらえる仕事にできるのか、答えがまだ出ていません。

事業部ガイド担当 近藤敏子

共への繋がりに拡がっていきました。

「ガイド担当の成果は」と問われると間違いなく各方向の人々の心に届く対応のこうした取り組みが来期へも大きな成果につながると確信します。未達成については活動決定表は全員に配布して状況の把握を促し、調査表の全員提出を期すためにも山盛り状態のレターケースの会員への発送や声掛けをして仲間同士の意識を高め、なごみの輪でありたいと望みます。

JR企画部 永田太一

④ イヤホンの活用で、徒歩途中での説明等のガイド活動がより一層充実してきた。

- (2) 課題
  - ① 採用基準の厳格化により、企画運営の充実が一層必要である。
  - ② 企画内容の、バランスと工夫が必要である。(独自性と一般性、新と伝統)
  - ③ 登山や町歩き等、限界や伸び悩みがある。
  - ④ 冊子以外の宣伝(募集)手段を検討する。

総務部広報担当 竹越徳造

りそんな折り混雑を避けてボランティアガイドの皆さんと研修した事で何とか持ち直している今日この頃です。

今の時代パソコンの使えない人は仕事に定着することが難しいと聞いておりますが、私はパソコンを使う事が出来ませんので迷惑をかけたと思います。

これからライン(スマホ)の操作を教えてください皆様と交流したいと思えます。健康に気をつけて歩ける事を目指して元気にガイドを続けたいと思えますので宜しくお願いします。

研修部門二年間の総括

事業部研修担当 磯田 智

この二年間、コロナ感染問題が大きく影響し協会の活動自体も中止に至った時期もあり研修部門としても計画するも中止又は延期が多く発生した。そのなかでも特筆すべき点をあげると、

・お客さんに充分なご案内が出来るようにコロナ後も新案内方式ともいえる「イヤホンガイド」方式の導入。

・世代交代を図るべくこの数年間の新入会員を主体とした研修、随伴研修で案内に対する基本事項の研修はほぼ達せられた。

・新たな事項として竹生島唐門などの修復完了に伴う新しい事実の発見とこれによる観光客の増加、案内内容の修正・研修を実施。

・当長浜VGの大きな研修・親睦行事である県外研修は大河ドラマの関係もあり福知山市を計画、実施寸前にコロナ問題で中止。

・二年目は秀吉との関連もあり大和郡山、奈良薬師寺を訪問。有意義な研修が出来た。

・外国語研修もコロナ問題で当面ガイド申込には至らない状況であるが、将来的な観点から続けている。三密会合を避けるため中止に至った事が多々であった。

今後の課題としては新人の早期戦力化の研修、市の観光行政とよく結びついた研修活動が必要と感じている。

二年間を振り返って

事業部研修担当 富永忠子

役員は初めての経験です。役員の皆様が会の運営に真剣に取り組んでおられる姿を直に拝見し、楽しくガイドさせてもらつばかりだったことを、今更ながら感じました。

研修部門もコロナ禍の下で計画通りにはいかないこともありましたが、イヤホンガイド研修や、竹生島唐門等修復完了による研修、県外研修の大和郡山城址等の研修が思い出されます。英会話研修は、外国人観光客不在の今、森先生に初歩の教材で、耳からの英語に慣れること、簡単な基本の日常会話ができることから習っています。次期に続く研修です。

四月、五月は第三木曜日です。始めるには、今がチャンスです。楽しく学びましょう！

もたつきながらの二年間でしたが、多くのご指導とご協力を頂きありがとうございます。

会員間交流紙発行とひとつの発見

総務部広報担当 山崎喜世雄

私に託された任務、広報係には、清掃分野や行政への報告という役割もありましたが、欠かせない仕事として「鯀の湖」と「鯀の湖通信」の発行がありました。

このうち力を入れたのは「鯀の湖通信」の方で、ほぼ毎月の発行を目指しました。その目的は会員間の交流紙に育てることでした。それまでは五十名余を抱える組織なのに会員が互いに交流する機会が少ないのではと思ったのです。「通信」を媒介にして会員同士の

顔が見えるようになれば組織も活性化するのではと期待してのことでした。

私は観光ガイドの活動をする以前、ボランティア活動のあるべき姿など考えたこともありませんでしたが、いまは、社会的には微妙な位置にあり諸刃の剣となりうる存在だから、自分自身の主体性が問われると思うようになりました。気づかせてくれて感謝です。

課題は組織の若返りと痛感

総務部財務担当 大橋義民

コロナ禍のなか、寒波と積雪に悩まされた冬も終り、家の周りでは、スイセン、黄梅、マンサク、サンシユユ、ジンチヨウゲ、河津桜の花が心を和ましてくれます。

微力ではありましたが、総務部での財務担当は初めての経験であり心配しましたが、会員皆様さんのご協力と役員各位のアドバイス等でガイド以外の総括的な視野、財務の成り立ち、スピード感のある新入会員募集対応、会員の服務規程の遵守等の奥深い経験をさせていただきありがとうございます。

- ①組織の若返り 歴史文化の継承と V G 協会存続のため新入会員の増員と面接入会時の概要手引き書の作成
- ②ほうれんそう「報告・連絡・相談」の徹底

まとめ、事故防止  
③感染対策等ガイド機器の保守管理（利用者各自保守）

気をひきしめて務めた財務業務

総務部財務担当 藤居きよ子

毎日、明けても暮れてもコロナ、コロナとの戦いのなかで、財務を担当させていただきました。

数少ないガイド活動でしたが、交通費の支払い、金額に誤りはないか、また、振込先を間違えてないかなど、充分に気をつけて働いてきました。何事もなく支払うことが出来てホッとしているところです。

やり残した課題。  
特にこれといつてはありません。与えられた仕事に間違いのないようにこなし毎月無事に終え、こなし終えることで精一杯でした。

◎お知らせ

▼長浜曳山祭研修会 4月5日(木) 13時半より  
南郷里まちづくりセンターにて  
講師・馬場理事長

▼英会話研修 4月21日(木) 13時30分より  
5月19日(木) 13時30分より  
南郷里まちづくりセンター

通常総会開催について

令和4年度通常総会を左記要領にて開催します。  
期日・四月二二日(金) 午後一時より  
会場・南郷里まちづくりセンター  
議題

- 一、第1号議案 令和3年度事業経過報告の件
  - 二、第2号議案 令和3年度収支決算報告、会計監査報告および収支決算報告承認に係る件
  - 三、第3号議案 令和4年度事業計画(案)承認に係る件
  - 四、第4号議案 令和4年度収支予算(案)承認に係る件
  - 五、第5号議案 令和4年度・令和5年度理事並びに監事選任に係る件
- 別途配布した出欠票を四月一五日(金)までに湖北観光情報センター四居家まで提出して下さい。止むを得ず欠席の場合は委任状に委任者名(理事長または出席者)を明記し、記名押印のうえ令和4年度会費(二千元)を添えて提出願います。
- ・議案書は四月一四日(木)に配布します。
- ・総会当日に令和4年度分年会費二千元を持参下さい。
- ・総会当日は制服(ブレザー)の着用をお願いします。

総会終了後、親睦会会計決算報告等を行います。

長浜観光ボランティアガイド協会会報

「鯨の湖」第一五四号

令和四年四月一日発行

発行人・馬場智章/編集人・山崎喜世雄

発行所・NPO法人長浜観光ボランティアガイド協会

長浜市元浜町14・12 四居家内